



創刊号 2019年8月

【北条地区人口】(2019.8.1現在)
男3,562人 女3,907人
【世帯数】 2,746世帯
〈発行〉あつまらいや北条・北栄町

～あつまらいや やらいや たのしまいや!～



ドローンで撮影したバージョン

校庭の中心で愛を叫ぶ

北条小児童とその保護者、教諭、あつまらいや北条メンバーら約420名が力を合わせ、人文字を完成させました。

(撮影：8月18日 写真/大塚健一朗 [写心家])



あつまらいや北条
会長 副田 幸男

「北条」から元気を発信!

「あつまらいや北条」は、北条地区住民有志で組織し、「我がふるさと北条を元気にしたい」として、「子どもたちに多くの思い出づくりをさせてやりたい」との思いで立ち上がりました。住民たちが主体となり、「小さなことから無理をせず」をモットーに、楽しんで課題の解決に取り組んでいます。

我が町も少子高齢化、人口減少等により、賑わいが無くなりつつあるのではとの思いで、賑わいのあるたまり場を創ろうと、これまでに「北条ふるさとまつり」、「茶臼山桜まつり」、「田植え体験」などを住民の方に多くの賛同をいただきながら実施してきました。

身近な地域から住民手作りで賑わいを創出し、人と人のつながりを活かして地域課題を一つでも解決することで、地域振興に繋げ、それを町全体の活性化に発展させ、「住んで良かった」と思える北栄町を創り続けることが私たちの大きな役割だと思っています。

今後も地域の資源、特色を活かし、子どもから高齢者まで年代、世代を超えて、北条地区の住民が集まり、楽しみを感じられる「場」を創出できるよう活動していきます。

開催決定

第2回
あつまらいや北条



とき 令和元年 11/3 日・祝 10時～15時

ところ 北条健康福祉センター(メイン会場)

内容 ●子どもたちの活動発表 ●大抽選会
●参加型ゲーム ●北条屋台村
●ものづくり体験 ●働く車試乗 など

楽しいこと
盛りだくさん

※切
9/17(火) 「北条屋台村」出店者募集

対象：北条地区で地域活動を行っている地元団体
出店料：貸テントあり 3,000円/1張
テント持ち込みなら無料
軽トラ市 500円/台
出店数：テント20店程度、軽トラ市10台程度
申込先：あつまらいや北条事務局(役場北条支所内)
☎36-3111



編集後記

「あつまらいや北条」広報誌の記念すべき第1回の発行となりました。住民の皆さんに楽しんで読んでいただける広報誌をめざして広報委員一同、努力していきます。

人文字作りでは、北条小関係者有志約420名が、会員でもあるプロカメラマンの大塚さんの撮影により「I♡北条」をくっきりと校庭に浮かべました。一人ひとりの笑顔が素晴らしかった。そして全員が青い空を見上げて「オーイ!みんな、あつまれー♡」(広報委員 淀瀬 千賀子)

題字:向井 結 [筆文字デザイナー]

あなたの力を! あつまらいやメンバー大募集!



撮影:平成30年11月4日(北条ふるさとまつりにて)

活動は、毎月1回定例会を開き、会員が北条地区の賑わい創出について、前向きで未来志向の発想から自分たちでできることを自由に語り合い、それを具体化し、実行します。

一緒に活動しませんか?

名簿登録者数37名(令和元年7月末時点)

問:あつまらいや北条事務局

☎ 36-3111

ネタのタネ

役場北条支所前にある自動販売機。その売り上げの一部は北条地区振興事業の活動に充てられており、陰で活動を応援してくれています。強い見方!



ぜひご利用ください



北条ふるさとまつり

ふるさと愛を原動力に ～ともに汗を流して地域づくり～

「あつまらいや北条誕生！」
平成29年7月の庁舎統合に伴い、北条地区が疲弊していきかねようとして、町の音頭で住民の有志とともに、北条地区の賑わい創出について自由に語り合いの場が設けられました。語り合いでは、将来の北条地区のあり方や活動の方向性を見据え、自由に意見を出し合いました。

そして、これから北条地区が衰退しないように、ふるさと北条を知り、無理をせず、未来志向で自らが楽しみながら、北条地区の振興へのアクションを起こそうと、住民が主体となり、平成30年5月に「あつまらいや北条」を設立しました。

住民一人ひとりが主役に

あつまらいや北条が目指すところは、「まつり」の開催だけではありません。これからの北条町の人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、わたしたちは、北条学区を単位に、子や孫の代のために今の世代の住民を主体に、自分たちの役割や特技（長所）を活かし、人がつながりながら、賑わいの創出や地域の課題解決に取り組めます。

北条町の発展を願い、住民の絆を深め、「ふるさと北条」から元気を発信しましょう！

まずは「まつり」であつまらいや！

町合併後、北条で交流する場がなくなつたなあ、との認識から、まず、年代を超えた住民が集い、交流し、地域づくりの基礎となる人と人がつながる場面をつくりたいと会員の意見が一致しました。

その第一弾として「北条ふるさとまつり」を開催しました。まつりには多くの住民が集い、子どもたちの発表や多彩なイベントで笑顔と感動があふれました。また、郷土芸能「北条砂丘太鼓」の復活の場にもなり、改めてふるさとへの思いを感じたまつりとなりました。

住民が顔合わせん
ようになったなあ。

これからの「町」や
「北条」の姿は？

あつまらいや北条



子どもたちと
地域の人との
交流がないなあ。

「ふるさと北条」の
いいところを
知ろうや！

自由な語り合い

昔、茶臼山に
よ一登ったなあ。

高齢者が集まる
場所がないなあ。

道をみんなで
直さあか。

北条のブランド
品はどう？

災害のとき
どうする？

まちをきれいに
したいなあ。

皆が健康で
おりたいなあ。

北条支所を
カフェに
してみる？

国坂にきれいな桜木スポットあるぞ！



茶臼山桜まつり

ほんに喜んで ごしなった！

大野自治会長
山根ひろ子 さん



北条地区の賑わい創出の取り組み“第二弾”となった「茶臼山桜まつり」。当日は曇り空ではありませんでしたが、町内外から多数の皆さんにお出でいただき、盛大に開催できました。

寒さのため、国坂神社・北条野球場・国坂桜並木は五分咲きにとどまり残念でしたが、北条屋台村では、何度も屋台行列に並ばれ、購入される高齢者の方々、地元での祭りを思う存分満喫されている方々の姿に、こちらも嬉しくなり、元氣もいただきました。

国坂地区を舞台として、楽しく集う交流の場をご提供いただき、ありがとうございました。

子どもたちに体験させたいや！



もち米づくり体験

瞳が 輝いとったけ！

北条なかよし学級
岡 裕一 さん



米作りは日本を支えてきた文化です。「田植え」という当たり前前に営まれていた農業が、機械による作業に代わり、泥田の中で土に触れる機会がほとんどない子どもたちにとって貴重な時間となりました。最初は嫌がっていた子どもたちが、いざ田んぼに入ってしまうと笑顔がはじけ、瞳がキラキラでした。なんとと素敵なお姿でしょう。

子どもたちに豊かな経験をさせたいという児童クラブの願いを叶えてくださった「あつまらいや北条」と「田井宮農組合」の皆さんに心より感謝しています。育ちゆく稲穂と子どもたちの姿を重ねながら、次の収穫作業と餅つきを楽しみにしています。

活動のあゆみと 今後の予定

- 平成29年度
毎月1回 19:30
北条地区の賑わい創出についての自由な語り合い
- 平成30年度
平成30年5月
あつまらいや北条誕生
- 平成30年11月4日
第1回北条ふるさとまつり
- 平成31年3月30日
第1回茶臼山桜まつり
※協力：国坂・国坂浜・大野各自治会・国坂神社
- 平成31（令和元）年度
令和元年6月8日
もち米づくり体験
※協力：田井宮農組合
稲刈り：11月（予定）
収穫祭：1月（予定）
- 令和元年8月18日
北条小奉仕作業と
人文字写真撮影会
※協力：北条小PTA
- 年2回（不定期）
広報誌発行
- 令和元年11月3日
第2回北条ふるさとまつり
- 令和2年4月上旬（予定）
桜まつり
国坂桜スポットにて

？ 次何やる？